

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

総合かぜ薬〈ピリン系〉  
イソプロピルアンチピリン配合

**第2類医薬品** 発熱が辛いカゼ、さむけのあるカゼによく効く

## ルルアタック<sup>®</sup>FXa

### ルルアタックFXaの特徴

辛い発熱やさむけを伴うカゼ症状に着目し、イソプロピルアンチピリン、アセトアミノフェン、ショウキョウ末、ビタミンCなどの10種の成分を配合することですぐれた効果を発揮する総合かぜ薬です。

1. 2種類の解熱鎮痛成分イソプロピルアンチピリンとアセトアミノフェンを配合しており、発熱、さむけ、頭痛にすぐれた効果を発揮します。
2. ショウキョウ末が末梢血行を促進することで、発汗を促し解熱作用を高めます。
3. かぜに伴う発熱等により消耗しやすいアスコルビン酸(ビタミンC)を配合しています。
4. 持続性抗ヒスタミン成分クレマスチンフマル酸塩が、カゼのアレルギー症状(鼻水・鼻づまり)をおさえます。
5. 携帯に便利なPTP包装です。



### 使用上の注意

#### **⊗** してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
  - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないで下さい。

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。

(眠気等があらわれることがあります)

4. 服用前後は飲酒しないで下さい。

5. 長期連用しないで下さい。



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(3) 授乳中の人

(4) 高齢者

(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

(6) 次の症状のある人 高熱、排尿困難

(7) 次の診断を受けた人

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい、興奮、けいれん
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。


- 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。  
□のかわき、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

## ■ 効能・効果

かぜの諸症状（発熱、悪寒、頭痛、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み、くしゃみ）の緩和

## ■ 用法・用量

次の量を水又はお湯で服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	2錠 	3回 食後なるべく 30分以内に服用 して下さい。
7歳以上15歳未満	1錠 	
7 歳 未 満	服用しないで下さい。	

### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守して下さい。
- (2) 7歳以上の小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
- (3) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。

（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります）



## ■ 成分・分量

本剤は、白色のフィルムコーティング錠で、6錠中に次の成分を含有しています。

成分	分量	はたらき
イソプロピルアンチピリン (ピリン系)	300mg	熱を下げ、頭痛、関節やのどの痛みをやわらげます。
アセトアミノフェン	450mg	
ショウキョウ末	200mg	発汗を促して解熱作用を高めます。
クレマスチンフマル酸塩	1.34mg	かぜのアレルギー症状(鼻水、くしゃみ等)を持続的におさえます。
グリチルリチン酸	39mg	のどや鼻の粘膜の炎症をしずめます。
チペピジンヒベンズ酸塩	75mg	せきをしずめると共にたんを出しやすくします。
ノスカピン	48mg	せき中枢に作用し、せきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支をひろげ、せきをしずめます。
無水カフェイン	75mg	頭痛をやわらげます。
アスコルビン酸(ビタミンC)	300mg	かぜに伴う発熱等により消耗したビタミンCを補給します。

添加物：セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスカルメロースNa、トウモロコシデンプン、無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、フマル酸、ステアリン酸、ポリビニルアセタールジエチルアミノアセテート、ヒプロメロース、タルク、酸化チタン、マクロゴール、カルナウバロウ

## ■ 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4) 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記に  
お願い致します。

**第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室**

〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10

電 話 0120-337-336

受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

ルルについて詳しくは [www.lulu.jp](http://www.lulu.jp)

01 ⑧登録商標

 販売元  
**第一三共ヘルスケア株式会社**  
Daiichi-Sankyo 東京都中央区日本橋3-14-10

製造販売元  
**滋賀県製薬株式会社**  
滋賀県甲賀市甲賀町滝879番地

ホームページ <http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>